



よろしくお願ひいたします

13Rの保護者の皆さま、お子様の日比谷高校ご入学、おめでとうございます。13Rの担任を務めます保戸塚（ほとづか）でございます。一年間、よろしくお願ひいたします。

教科は国語で、週に3時間、古典の授業を担当いたします。また、学年内の仕事では、進路指導を担当いたします。具体的には、月に一度「進路通信」を発行したり、模擬試験の手配をしたり、夏期・冬期の講習の準備をしたり、日比谷の卒業生や進路指導のプロを呼んでの講演会を計画したり…といったことが仕事の中心となりますが、それらを通じて生徒諸君の進路意識を高めることができると考えております。

日比谷に異動して早13年目になりました。この間、二度卒業生を出していますので、その時の経験も生かしながら、学年・学級の経営に携わっていただければと考えています。

さて、お子様もいよいよ高校生。自立（「論語」での「而立」は三十歳。十五歳は「志学」です…）の時期を迎えることとなります。

今までは何でもよく話をしていたのに、だんだん学校のことを話さなくなってきた…といったことがあるかも知れません。また、今までは勉強の相談に乗ってきた（一緒に勉強をしていた！）、進路についても一緒に考えてきた、という方もいらっしゃると思いますが、勉強の方もグッと難しくなりますし、進路選択もいよいよ本人が将来を見据えながら、しっかりと結論を出していかなければなりません。その意味では、親離れが進んでちょっと寂しい気持ちを味わわれることもあるかも知れませんが、それも成長の過程

ということなのでしょう。

一方で、

- ①朝、朝食を食べさせて学校に送り出す（欠席の場合は、8:00～8:15に保護者が学校に電話連絡を。03-3581-0808）
 - ②身だしなみを整えさせる
 - ③お弁当を持たせる（購買もありますが…）
 - ④生活習慣の悪い所ははっきりと叱る
 - ⑤スマホ・お小遣いなどのルール、家族のルールを相談し、きちんと守らせる
 - ⑥自分の持ち物はしっかりと管理させる
- といったところは、ぜひともご協力をお願いしたいところです。

勉強については、ただでさえプレッシャーを感じているでしょうし、私ども各教科の担当が「やれ、やれ！」とせっつきますので、気になることとは思いますが、ご家庭ではむしろ、お子様が話し出された時に、励ましながら耳を傾けていただければと思います。

初めて長距離の通学になる生徒も多く、最初は疲労困憊といった状態で帰宅することになると思います。その結果、勉強もせずに寝てばかりいるといった姿が目に入り、どうしても一言言ってやらないと…と思われるかも知れませんが、日々の生活や行事・部活などを通じて、それぞれに素晴らしい友人・先輩を見つけ、着実に「日比谷生」になっていくことができると思います。保護者の皆さま方もご不安な点が多々あるかとは思いますが、どうぞ暖かく見守っていただきたく思います。この通信が、そんな不安を解消する一助になればと思っています。